

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実践とあるが、スピーチロックに関しては日々のケアの中で細心の注意をもっと払っていかなければならない。前年度からの継続の課題としたい。	日々の流れの中でややもすると無意識に発してしまう言葉や声の大きさ等、気づいたその場で職員同士が互いに声を掛け合い、注意をしようよう実践するとしてきたが、まだまだ注意をしなければならない場面がある。多少の改善は認められるものの更なる意識づけが必要。	社内研修等重点的にスピーチロックに対する研修は重ねてきたが、振り返りと改善点の指摘を具体的に個別に実施していきたい。	12ヶ月
2	48	コロナ禍の中、先の見えない現状で閉鎖的な生活の中なのでアクティビティに注力したい。	開所から4年が過ぎ、ADL認知レベルの低下が懸念される。まだまだ行動が制限される生活が続く気配の中レベルにあったアクティビティの考察を個別に計画していきたい。	アクティビティの個別計画書の作成と職員の対応レベルのアップを図るための情報収集と職員間の話し合いの機会を多く持ち実践していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。